2012年 春号　地域配布版　第33号

枚方市議会議員　みんなの党

池上のりこの市政報告NEWS

池上典子のホームページ

<事務局>枚方市楠葉中町35-16
<TEL/FAX> 072-856-2901
<枚方市役所> TEL.072-841-1221 (代表)

携帯用QRコード

http://www.ikegami-noriko.jp （いけがみ-のりこ.jp）

この市政報告は、市政調査の為に発行しています。皆様から頂くメール、お手紙等はパブリックコメントとして議会活動に生かしていきますので、ご意見をお待ちしています。

春爛漫の美しい季節になりました。市民のみなさん、お元気ですか。

枚方市議会では、昨年から**「議会改革調査特別委員会」**を立ち上げて、改革の諸課題について議員同士の議論が白熱しています。（意外に思われるかも知れませんが、実は議員同士の公的な場所での議論というのはあまりないのです。）

今までの審議会とは異なり、委員会ということで全て最終決着をつけていくという形になりますが、議論の中では共通する**議会意思**というものも見えてきます。条例改正が必要な案件も多く、最終的には全議員による決断にゆだねられます。

枚方市議会では昨年の改選により14人の新たな議員を迎え、**市民に求められている議会のあり方**そのものも問いながら、**「議会の見える化」**に向けて、最終的には**議会基本条例策定**まで含め、今期4年間でやり遂げていく予定となっています。

※議場での一般質問･代表質問については、その質疑の全てがユーチューブにより配信されております。（なるべくお金をかけないということで、議会事務局職員の手によるものです。）枚方市ホームページ→枚方市議会→本会議録画映像

【池上のりこプロフィール】

生年月日：1953年　1月5日生（B型RH+）
経　　歴：1971年　岡山県立津山高校卒業
　　：1975年　日本大学法学部卒業
　　：1995年　枚方市議会議員 初当選
　　：2011年　枚方市議会議員 5期目
家　　族：夫、3人の子供
大 き さ：身長/163センチ、体重/？
ﾆｯｸﾈｰﾑ：「がみちゃん♪」

池上のりこは既得権と選挙のしがらみを断ち、
みんなの手に政治と税金を取り戻す為に活動しています。

3月議会の代表質問

抜粋

2012年3月6日

平成24年度に竹内市長が、どのような方針で市政を運営していくのかを「市政運営方針」で表明され、それに対して、各会派から代表質問が行われました。私は「みんなの党市民会議」を代表して２３項目の質問をしました。

枚方市の質問、答弁の正式な会議録は約３か月後に発行されます。紙面の都合で言い切りがたの文章にしていますが、実際は丁寧な言葉を使います。質問だけでも４０ページ程になり要約としていますので、必要な部分は全文をお申し出ください。

1 福島第一原子力発電所の事故について

放射能については、市政運営方針で全く触れられていないのでこの項目で質問しました。

池 上 震災がれきの受け入れについて見解を問う

市 長 広域処理は必要であるが、枚方市の清掃工場は指針の処理基準に合致しない為、受け入れ処理は行わない。

池 上 食品用放射線測定器の購入について見解を聞く

市 長 測定装置を整備する必要はない。

学校給食が心配という保護者の声や、市内に出回っている食品の安全性確認のため、また、風評被害に対する東北支援のためにも測定器の購入を検討して欲しい。測定器の値段は高いもので２千万円～３千万円とのことですが、市政施行65周年事業に２千万円近いお金をかけるなら、こちらだという思いです。

2 改革、変革の声について

池 上 「国家財政は依然として厳しく、国民は将来に向けた不安感や社会に対する閉塞感を大きくしている。」この状況認識に対しては、同感である。大阪府、大阪市の改革について市長の見解を尋ねる。

市 長 改革にあたっては、それぞれの自治体が抱える課題の背景や原因を正しく認識し、合理的な手段を模索することが必要。議論を尽くし、最善の方法を見出す。

3 外郭団体について

池 上 今回、（財）枚方市公園緑化協会を解散するが、他の８団体についての考え方を聞く。

市 長 他団体についても、本市と団体との適正なあり方について見直す。

池 上 市が設立時に公園緑化協会に出資した３億円のお金は、返還させるべきだ。

市 長 定款の変更を求めており、返還されるものと考える。

4 戦略的な広報活動について

池 上 各部署に広報担当を置くとされているが、河北新聞社については過去の人事介入事件以来、枚方市は一貫して「抗議を申し入れた相手側」として広報課で窓口の一本化を図っている。方針について変更はないか。

市 長 河北新聞社からの問い合わせや取材については、議員お示しの通り、過去の経緯から広報課を窓口に一元化した対応を行っている。今後も同様である。

5 市有財産の有効活用について

市 長 市有財産については全ての土地・建物での広告収入や、駐車場の有料化を図る。

池 上 受益者負担の観点から、賛同できる。
しかし、市民からまで利用料金を取るのであれば、**525,49 ㎡**にものぼる**職員組合の事務所も利用料を徴収すべきだ。大阪市の職員組合でさえ、年間約 1400 万円の事務所利用料を払っていた。**組合だけ「ただ」というのは市民合意が得られない。

市 長 職員組合の事務所については利用料を「免除」とする。

6 市民まちづくり基本条例について

池 上 理念や、スローガンに終わらず、市の最高規範としての条例にしていただきたい。

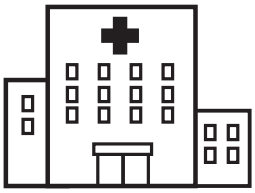
7 校区コミュニティ活動補助金について

池 上 今年度から地域の判断で弾力的な運用ということだが、「より有効な税金の使い道」という点では評価できるが、適正な執行の最終確認が必要だ。
（平成２４年度予算：5421 万４千円）

市 長 適正に執行されるよう確認を行っていく。

8 新病院整備について

「市民病院の廃止」を議員として主張していた時期もあったのですが、**平成２６年**開院をめざし、建設が進んでいます。総事業費は医療機器購入の３２億円も含め、約**１７０億円**です。
公的病院として不採算部門を担いながら、今後一層の収益の拡大が求められます。また、医師・看護師の確保も大きな課題です。



9 枚方・寝屋川の新消防本部庁舎整備について

・昨年の９月に、突然、議会に提案された約５０億円の整備事業です。（内：寝屋川市負担分約 16 億円）枚方市駅の少し京都よりで、府道「京都･守口線」沿い、らぽーる（総合福祉会館）の向かい側です。

・３０～ 50ｍの鉄塔が併設され、福祉会館、関西医大等の医療機器に対する影響や、淀川、天野川に隣接しているため、液状化の恐れについて尋ねましたが、担当課で調査され問題はないとの答弁でした。救急無線のデジタル化が待ったなしの状況なのですが、プロセスについては未だ釈然としません。

・以前から枚方市のみでの単独消防にすべきだと主張してきましたが、大阪消防庁構想等状況の変化も注視する必要があります。

10 地域医療連携システムの構築について

・市長は今回「健康医療都市」をテーマに掲げています。以前の「花と音楽」などとは違い、２次救急や３次救急病院までがそろった枚方市の都市ブランドとしては、都市間競争にあっても、有効なものだと考えています。

・市内の数多くの医療機関が連携するシステムの構築は、市内の患者の方にとっても恵まれた医療環境が整い、複数の病院で同じ検査を受ける無駄が無くなることで、国民健康保険の医療費削減にもつながり、賛同できる提案です。

・なお、県単位では同様のシステムがありますが、単独の市町村では例がないとのことです。

11 保育所の待機児童の解消について

・２月１日現在の市内の待機児童数は、５６０人にものぼっています。
厳しい経済状況の中で子育て中の若い世代の困窮を考えれば、全ての事業に優先され「総合こども園」「保育ママバンク」認可外保育施設への支援等、あらゆる手段、方法を検討して一刻も早く解消すべきです。

・超高齢化社会を迎え、社会保障制度が大きく揺らぐ現在の日本において、働く意思を持つ彼らを「豊かな保育環境」を整備して支えることこそ、持続可能な社会を構築する重要課題です。

12 中学校給食実施について

・全国的には、約８割の自治体で実施されている中学校の完全給食ですが、大阪府下では１割強という極端に低い実施率です。前橋下知事の補助金制度によって、多くの府下自治体が今回中学校給食に踏み切ろうとしています。

・今回、市は「選択制による共同調理場ランチボックス方式」の採用を表明しました。

・市内の中学生は約１万２千人です。その半分の需要を見込み、お弁当方式で１９中学校へ配食するというものです。

13 市立幼稚園の再配備について

・市政運営方針で市内を４つのエリアに分け東部、西部、北部エリアは各１園を残し閉園にし、南部地域では４園すべてを残すということです。

・厳しい定員割れが継続的に続く市立幼稚園の状況、また、私立幼稚園も定員割れの現状を考えれば、閉園は理解できる。しかし、ではなぜ南部エリアだけという疑問は残ります。

池 上 市立幼稚園は徒歩通園が基本だが、徒歩圏以外の保護者ニーズを考えれば通園バスの運行が必要ではないか。また、待機児童解消に向けられないか。

教育長 バス運行の実現は困難である。また、閉園後の幼稚園施設については、保育所待機児童の解消や、留守家庭児童会室の確保などの課題解決のための有効活用を考える。

14 引きこもり・ニート対策について

・私も以前、不登校の親の会にもかかわっておりましたが、当事者である子どもも大変ですが、家族の精神的な負担はさらに重く深刻です。

・内閣府の統計を枚方市に重ねると、１５歳から３９歳までの少なくとも２２００人以上の該当者という非常に大きな数字です。

・単なる制度に終わらせず、オール枚方で就労までを見据えた現実的な支援が必要です。

15 枚方市駅周辺再整備ビジョンについて

・枚方市駅南口（大阪方面に向かって左側）だけでも、枚方市役所、駐車場、市民会館ホール棟、市民会館、職員会館、市役所分館等で、市有地は約２万㎡という広大な敷地です。

・また、警察署、税務署、府民センター、裁判所、ハローワーク等の老朽化した官公庁も圏内にあり、統合ビルも考えられる。

・ビオルネの倒産、近鉄百貨店の撤退と厳しい状況が続いているが、民間、専門家の知識も動員し、老朽化した各種民間駅前ビル、府営住宅等も含め、枚方市の中心市街地として５０年後を見据えた駅前ビジョンの作成が早急に必要。

16 新名神高速道路について

・竹内市長は新名神高速道路やそれに伴う併設橋について積極的な考えだが、二転三転する国の方針に翻弄されてきた地元に対する丁寧な説明、そして速やかな情報提供が必要だ。

17 産業振興について

・産業振興コーディネーター派遣、商店街への補助金の再編、企業誘致の奨励金制度の拡充等の施策が盛りだくさんだが、税金を投入する事業という認識を持ち、市民にとってのメリットや費用対効果の分析が必要。

18 農業支援について

池 上 都市部における農地は作物を収穫するというだけではなく、地域にとっても温暖化を防ぎ、また災害時の避難や集中豪雨時の受け皿等大きな役割を果たしている。農地法改正以降も増加している耕作放棄地等の対策に、資産税課等の市の関係部署と農業委員会の連携強化によって実効性をあげる体制整備が必要。

市 長 農業委員会及び大阪府と連携し、効果的な取り組みについて検討する。

19 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」について

・ 市内の公的５病院（市立枚方市民病院･関西医科大学附属枚方病院･星ヶ丘厚生年金病院・枚方公済病院・大阪府立精神医療センター）の連携、協力については共感できる。

・ ただ、「コンソーシアム」設立の「キックオフシンポジューム」等、一般の方に耳慣れない言葉が市政運営方針に多用されているのは見直すべきだ。

20 配偶者暴力相談支援センターについて

・ ＤＶ防止法が２００１年に施行されました。それまでは夫婦喧嘩として片づけられ、警察も民事不介入で処理されていた配偶者暴力に対する社会の認識は大きく変わりましたが、制度整備は課題が山積している状況です。

・ 支援センター整備については市長の答弁で「配偶者からの暴力は、男女共同参画を阻むだけではなく、重大な人権侵害である」との強い決意がかたられました。

21 電力について

池 上 東日本震災以降、電力については昨年の夏に引き続き厳しい需給環境が想定される。
市役所の本館・別館については、電力事業者の **「エネット」** と契約し年間で約**４５０万円**の経費削減効果をあげている。学校や病院等他の公共施設での見解を尋ねる。

市 長 今後、競争による電力購入を基本に取り組む。

22 事業系ごみ処理手数料の改定について

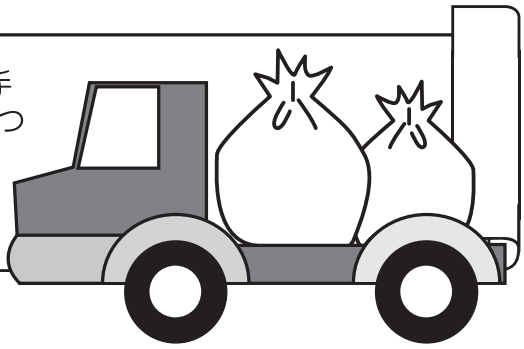
・ 枚方市内のごみ､約１１万トンのうち､約三分の一が店舗等から出る｢事業系一般廃棄物｣で、８社の許可業者によって市の清掃工場に搬入されています。

・ 受け入れ料金は１０kgあたり６０円となっていますが、市の処理経費は１６７円かかっています。また、隣接する八幡市、京田辺市では１５０円の手数料を徴収しています。また、大阪市でも今年の４月から５８円を９０円に引き上げられました。

・現在の６０円から１５０円に手数料を改正した場合、年間で約２億８０００万円のお金が生まれます。二億八千万円といえば、毎年１００人規模の保育所が建設できる金額です。

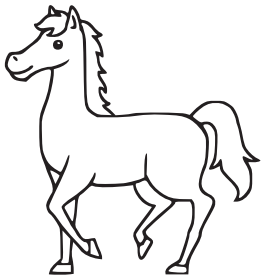
池 上 昨年の所信表明、今回の市政運営方針で「手数料を改定する。」と表明されているが、いつから、いくらに改正されるのか。

市 長 検討する。



23 総合文化施設建設について

・当初はラポール（総合福祉会館）とセットで進められ、コンペまで終わった後で財政状況の悪化により断念し、平成９年にラポールの単独建設で今日に至ります。現在、用地はホースセラピー牧場にお貸ししています。



池 上

昨年の選挙の後、所信表明で突然、文化芸術活動に親しむ市民の活動拠点としての総合文化施設を、**４年間**の在任中で建設に着手すると述べられた。
席数や、ホールの数や大きさ、事業予算を聞く。

市 長

平成 19 年の「総合文化施設基本計画（案）」では、大ホールが 1,200 席、小ホールが３５０席程度、また、事業費については長期財政見通しにおいて、総額**１６２億円**を想定している。

・老朽化した現在の**市役所との合築**にすれば、駅前南口の約**２万㎡**が全て空く。また、今回の**総合文化施設建設用地約１万５０００㎡**を長期で貸し民間が高層マ

キリトリ

郵便はがき

切手をお貼り下さい。

573-1107

枚方市楠葉中町35-16

枚方市議会議員

池上のりこ 行

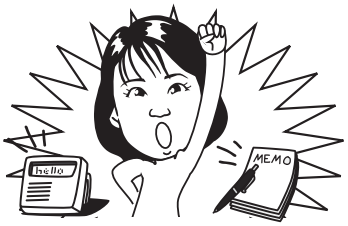
キリトリ

キリトリ

キリトリ

ンションを建て、その１階部分に文化施設を入れるなど、駅の商業ゾーンと共栄する様々な手法も含め、**枚方市駅再整備ビジョン**の中で総合的に考えるべきだ。

・私の知人の中にも新しい文化施設を待ち望んでおられる方も多くおられます。しかし、**今の時代に、これほど広大な駅前の一等地を、知恵も工夫もなく、約１６０億円もの事業費をかけ、単独・単体で建設することは許されず、利用者以外の市民合意は得られないと考え、市長に再考を求めました。**



【編集後記】

長い付き合いの友人が、昨年から「ひらコン」なるものを様々な業種の方たちとボランティアで始めました。

市内の駅周辺の活性化と婚活（お見合い?）を一緒にやってしまおうという、民間レベルの極めて欲張りな企画なのですが、第一回目は枚方市駅周辺で300名、第二回目は樟葉駅周辺で500名、第三回目は枚方市駅周辺に戻り600名（男女半数でグループ申し込み）の参加者があり、旧人類としては、その大反響に驚いている次第です。

今年の七月（七夕）には、過去最大の「ひらコン」を枚方市駅周辺で開催予定らしいのですが、織姫、彦星に微笑んでもらえるカップルがうまれますように、お天気を祈っています。

※ご意見（パブリック・コメント）をお寄せください。

パブリックコメント（ご意見）

（フリガナ）	
お名前	年齢　　歳
ご住所　〒	

破たん寸前の財政状況の中で消費税の増税論議が高まっていますが、現時点での増税は「日本という患者の出血を止めないで輸血をする」ような、違和感があります。

増税によって、今の体制をできる限り維持したいと思う人は、人数は少ないのですが声も力も大きいのです。都市部の無党派が投票によって制度自体を変えなければ、この国の財政は持ちません。

昨年の統一地方選挙で、「改革市民会議」の3人のうち、伏見たかし議員が大阪府議会議員となり、高橋議員と2人になりました。

そして、２ 週間後の市議会議員選挙で「改革」を掲げる新人の方が ４ 人当選を果たされ、現在は高橋しんすけ議員、かじや知宏議員と一緒に**「みんなの党市民会議」**を、また、**「未来に責任・みんなの会」**の岡沢龍一議員、清水薫議員、岩本ゆうすけ議員、木村亮太議員との ２ 会派 ７ 人でチームを組み、持続可能な枚方市構築に向け行財政改革に全力で取り組んでいます。